EAST NEWS
島根県立松江東高等学校
学校だより
第35号
令和4年3月

卒業式式辞より（抜粋）

校長　田中　正樹

１８０名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。教職員一同、皆さんの卒業を心より祝福いたします。

皆さんとは１年間のおつきあいでしたが、年度当初の学校紹介動画で東高の魅力を話してくれた皆さん、それから、朝酌川の河川敷を花でいっぱいにするというフラワープロジェクトに参加してくれた皆さん、また、秋に行われたキラ星共創プロジェクトで「地域を笑顔に」という思いのもと高校生発のユニークな企画を実践した皆さん、さらに部活動に勉強に、高みを目指して挑戦し続けてきた皆さん、それぞれから「自立への道程（みち）」を切り開いていこうとする前向きな表情がうかがわれ、一人一人の成長を感じることができました。

しかし、皆さんがこの東高で過ごした３年間、コロナ禍で２年生の４月から臨時休業となったり、部活動の大会が中止になったり、様々な教育活動が制限され、苦しい日々が続いたこともあります。そのような状況でもお互いが工夫を凝らし、頑張ってきました。幸い、３年次には、無観客あるいは入場者の制限は加わりましたが、県高校総体、各種文化部の大会も実施することができました。私も、できるだけ多くの会場に足を運びましたが、どの会場でも、最後まで諦めずに一つ一つのプレイを丁寧に行いながら挑戦し続ける運動部の皆さん、そして最高のパフォーマンスに向けて協力し合う文化部の皆さんの姿が見受けられました。君たちの歩んだ道のりはきっと後輩に引き継がれ、東高の新しい歴史として刻まれていくことと信じています。

さて、この卒業式は、皆さん一人ひとりにとって自分の将来への夢や希望に胸を膨らませ、自覚と決意を新たにする大切なスタートの日となります。そのスタートに際して皆さんにお願いしたいことを述べてはなむけとします。

一つ目は、「感謝の心を忘れない」ということです。

先ほど部活動の大会についてお話ししましたが、どの会場でも皆さんを熱心に応援する保護者の方々に出会いました。皆さんが自立に向けて精一杯歩んでいる後ろにはいつも、皆さんに寄り添い必死で応援してくれている保護者の方がいます。それから、一緒に歩んでくれた友人、君たちに寄り添ってくれた先生方の存在もあります。このような多くの人達の支えがあって今の自分がいるということを絶対に忘れないでいて欲しく思います。人は決して自分一人で生きていくことはできません。この後の人生でも必ず他の人と一緒に頑張る場面があります。その人と自分を結びつけるのは、感謝の心です。これからも他の人に対する感謝の心を忘れないでください。

二つ目は「感性を磨く」ということです。

大量生産、大量消費の２０世紀は終わり、もののあり方、生き方を考える２１世紀になったと言われて、２０年あまりが過ぎました。しかし、最近ではメタバースという仮想空間を表す言葉も言われるようになってくるなど、今まで以上に情報化が進み、現実と非現実の境がよくわからなくなってきつつあります。

大量の情報が目の前を飛び交い、それについてひとつひとつ吟味する余裕もなくなり、ものごとを処理していくことが優先され、１つ１つを感じることがおろそかになっていく可能性もあります。しかし、そういう中にあっても季節は巡り、人の心の有り様も時々に変化していきます。人として豊かに生きていく上で、ＡＩにはない、人が持つ感性の重要性がますます高まっています。

幸い、私たちは、小泉八雲が愛した、感性あふれるふるさと島根に住んでいます。この島根の風土で培われた感性を大切にし、様々なものを自分事として感じる力をもち、それぞれの世界で自己の感性を更に磨いていって欲しく思います。

そして三つ目は、「地域を共に創る心を持ち続けて欲しい」ということです。

皆さんは、本校で実施している「地域共創人育成Project」で企画されたいろいろな地域連携による学習プログラムを経験してきました。そして、このプログラムを通して君たちの中に、自分が住んでいる地域の方々といっしょによりよい社会を築いていこうとする心「地域を共に創るハート」が育まれつつあることを私は感じています。このハートは、どんな地域に住んでも、そこに住んでいる方と協働しながらよりよい社会の実現に向けて動かんとするハートです。誰かが何かをしてくれるのを待つのではなく、仲間と協働し、自ら地域社会に新しい価値を創り上げようとするハートです。

この４月から１８歳成年年齢が始まるなど、社会がますます若者の参画を望むようになってきています。どうか、本校で培ったこのハートを今後も持ち続け、よりよい社会の形成に貢献できる人物になってください。そして、可能な範囲でいいので、卒業後も本校の教育活動に関心をもち、後輩に君たちのハートを伝えていってほしく思います。

私たちが住むこの地球は有限ですが、君たちの可能性は無限大です。この後、君たちはこの世界の様々なところで活躍することと思われます。しかし、世界のどんな場所にいても、どんな仕事をしていても、心の中にこのふるさと島根で培った感性を持ち続け、何らかの形で島根に関わり、支える人間になってほしく思います。

祝 卒業

3年部の教員から　卒業生へ

～漢字一字とメッセージ～

繋

深い「繋がり」を作り出し、強い「繋がり」を大切にできる人に。

どんなに能力があっても、どんなにスキルがあっても、どんなに勉強ができても独りでは生きていけないと思います。人や環境と繋がりが深く、強い人はなんでもできるし、なんでも楽しい。仲良しこよしの「浅い」繋がりではなく、本気で文句を言い、本気で考え、本気で喜び合える。そんな「深くて強い」繋がりを大事にしてください。

南口　哲也

祝

Congratulations on getting into your new life.

あなたには、好きなことをして生きる権利がある！

日比野　美彩

間

「人間」にとって大切なもの、人と人との「間」に生まれる素敵な出会いや繋がりなのでは、と思う。どうか豊かな人生をお過ごしください！

秋月　弘司

縁

いつどこでだれとだれがどんな出逢いをするかそれが大事なんだなあ（相田みつを『出逢い』より）

毎年クラス初日に紹介してきた言葉を再度贈ります。皆さんが今後も様々な人との素敵な出逢いに恵まれ、その縁を大切に過ごすことを願って。そして私自身ここで皆さんと出逢えたことに感謝して。

川谷　毅

侃（かん）

侃は正しく強いという意味です。正しく強く成長していってください。

今までは親や学校に守られた人生でしたが、これからは基本的に一社会人として、多くの責任を果たさなければいけません。責任ある行動で立派に成長し、何年後に会えることを楽しみにしています。

若槻　直輝

「明日は変えられる」

（アステラス製薬の回し者ではありません。）みなさんの明日は、みなさんが創り出すことができるものです。自分の変えたい一面があるのなら、変える何かに挑戦してみましょう。

矢上　桂子

郷

松江東高の宝である皆さん
ふるさとを誇りに思い、郷里で得たものを胸に、それぞれの道で活躍してください。

井上　美子

前

前向きに！ふと立ち止まることや少し戻ることがあってもいい。前に向かって進んでいこう！

卒業おめでとう。次の4月からの新しい生活も出来ないことを嘆くより、出来ることを考えた方が楽しく過ごせるはずです。上手くいかないときに、それでも自分の出来る努力を続けて欲しい。その努力が底力となって、あなたを支えてくれます。頑張れ！

青山　靖夫

輝

それぞれ新しい場所で光輝いてほしいと思い、この字を送ります。
支えてくださっている方々への感謝を忘れずに。

森脇　崇

3年生のみなさん卒業おめでとうございます。教職員一同、これからのみなさんの活躍を楽しみしています！！！

島根探究フェスタに参加しました！

島根探究フェスタとは、島根県の高校生が「自分が取り組んでいる探究活動」について発表を行うイベントです。同時に、他校の生徒の探究活動の様子を聞いたり、大人の方々から意見をもらったりするなどして、自分の探究心や自分の探究を高めていく機会でもあります。本年度はオンラインでの実施となりましたが、本校から参加した4名の生徒は充実した時間を過ごしたようでした。

○ 参加者と探究プロジェクト

３年　三代愛華　　『魅力ある暮らしやすいまちづくりに貢献する交通サービスの研究』

２年　矢引優空、和田彩華　　『子どもまんぷく計画』

２年　バラック シェイ　　『Glocal medical project』

↑　グループで記念撮影。他校の生徒や大人の方々ともつながることができました。

４人とも発表が始まる前は緊張をしているようでしたが、発表が始まると自分が探究で実施してきたことや、自分の考えなどを自信を持って伝えることができました。また、ファシリテーター役の大人の方々からの質問やアドバイスに対して、真剣なまなざしで話を聞き、そして自分の想いを一生懸命伝えている姿が印象的でした。大人の方がからのアドバイスはもちろん、他校の生徒の発表にも刺激を受けたようです。４人の今後の探究活動がどう進んで行くのか、期待が高まりました。

また、４人の発表は現在『全国高校生マイプロアワード2021』にて、審査中です。審査の結果次第で全国規模の発表会に推薦されることになります。４人の発表がどうなるのか、目が離せません。

【 部活動報告 】

バスケットボール部

令和３年度　島根県高等学校バスケットボール新人大会　（令和4年1月14日～16日）

○　男子

２回戦	松江東	９３―５１	松江北
準々決勝	松江東	９５－６６	浜田商業
準決勝	松江東	７０―７７	出雲北陵
３位決定戦	松江東	９７―５４	出雲

第３位　　ベスト５賞　竹田　大二

○女子

２ 回 戦	松江東	９７－６２	皆美が丘女子校
準々決勝	松江東	８９－６３	出雲商業
準 決 勝	松江東	８３－６７	松徳学院
決　　勝	松江東	５８－６３	松江商業

準優勝　　ベスト５賞　椋木　優衣

書道部

２０２２　新年書道パフォーマンス　（松江東高校体育館にて）

大字の「福篭」は、「ふくろう」と読みます。「篭」は「籠」と同じく、「かご」「こめる」「こもる」という意味があります。
「福篭」＝「ふくろう（梟）」は、「福」がとどまり、満ちていることを表しており、令和４年の幸福を祈念して制作しました。背景には勢いのある「寅（虎）」を描き、新年の慶賀を表現しました。

【 行事予定 】

【３月】
- 9日　ETC⑦
- 11日　高校入試合格発表
- 12日　1,2年GTEC
- 24日　終業式
- 28日　入学者予定者会
  補習科入試
- 30日　補習科合格発表

【４月】(予定)
- 8日　始業式
  補習科入科式
- 9日　入学式
  第２回PTA役員会
- 14日　1年スタサポ
- 27日　3年進研記述
  (～28日)
  PTA三役会

【５月】(予定)
- 6日　試験発表
  第１回PTA役員会
- 13日　中間試験①
- 14日　中間試験②
  PTA総会(PM)
- 16日　中間試験③
- 20日　週休日振替(5/14)
- 26日　前期高校総体(～29日)

島根県立松江東高等学校
〒690-0823 島根県松江市西川津町510番地
TEL: 0852-27-3700(代表) FAX: 0852-27-3703
HPアドレス https://www.matsuehigashi.ed.jp/

学校だより「EAST NEWS」(カラー版)はホームページにも掲載しています。バックナンバーもありますので、ぜひご覧ください!!

編集・発行　松江東高校魅力化推進部